教員が変わる・子どもも変わる~アンガーマネジメントの取組~

<Before>

けんか・暴力・暴言 飛び出し・イライラ

子ども図り感

保護者

不満・不信・要求

教職員

責任感による孤立・無気力 個々の指導力によるばらつき

<After>

あきらめない姿勢 規範意識の向上

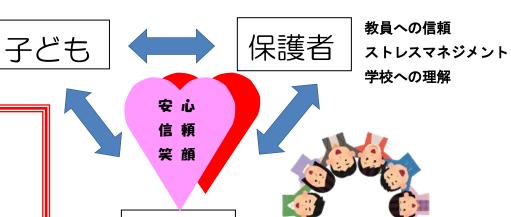
自己肯定感の高まり

傾聴

適切な言葉がけ・支援 見立て力の向上

あきらめない姿勢

教職員の連携・協働



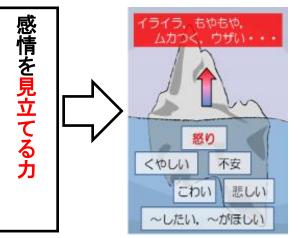
教職員

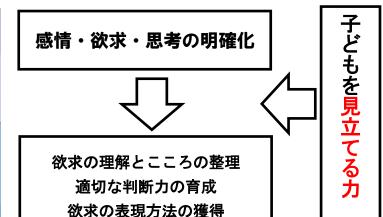
学校での規範意識や生活満足度が向上!

(全国学力・学習状況調査児童質問紙より)

番号	質問事項	H26	H27	<u>H28</u>
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	86. 4	90. 9	100
6	自分には、良いところがあると思いますか。	45. 5	45. 5	61.6
3 2	先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。	86. 4	1	100
4 0	友だちとの約束を守っていますか。	86. 4	ı	96.1
4 3	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	_	95. 4	100

<アンガーマネジメントのねらい>

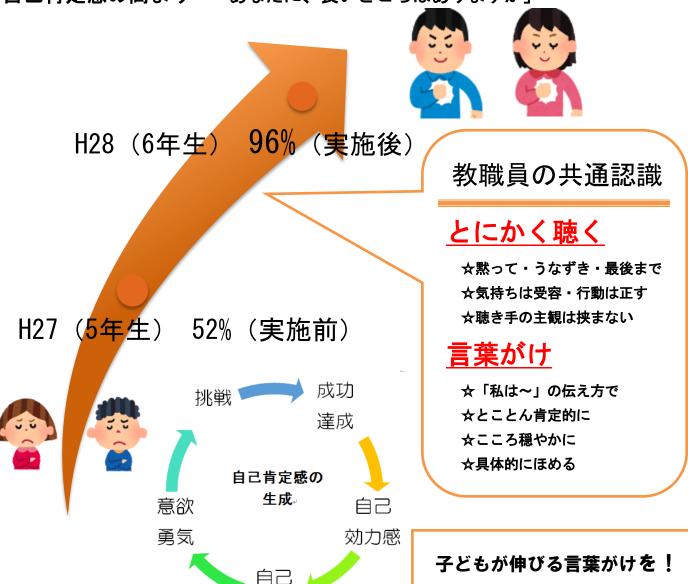




<学校生活アンケートより>

自己肯定感の高まり 「あなたに、良いところはありますか」

肯定感

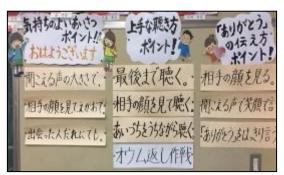


〈学校内での取組〉「アンガーマネジメントプログラム」実施に向けた土台づくり

<u>低学年</u> 「感情を豊かにしよう 五感を育てよう」 「表情まねっこクイズ」「今どんな気持ち?」「表情カードを使ってお話しよう」など



<u>中学年</u> 「人とつながるソーシャルスキルを育てよう」 「上手な話の聴き方」「気持ちいいあいさつ」「ごめんなさい」「ありがとう」など







<u>高学年</u> 「自分を理解しよう」~アンガーマネジメントプログラム~

第1課程「気づき」 第3課程「自分の特性の理解」 第5課程「新しい行動の練習」

第2課程「なっとくのりくつ」 第4課程「新しい行動の学習」





<保健室での取組>



表情シートの 活用

リラックス スペースの活用



掲示による啓発

バイタル チェック

傾聴

ストレス マネジメント



担任との連携

報告 連絡 相談

<教職員への取組>

〇職員研修(年間5回)「アンガーマネジメントの理論と技法」など

〇授業研究と協議 低学年・中学年・高学年から

○組織構成 研究部 低・中・高学年部会 保健室との連携 ○児童の実態把握 ASSESSの処理・分析・活用=3年生以上

ASSESSの処理・分析・活用=3年生以上 学校アンケート 実態交流

<保護者や地域への取組>

〇人権地区別懇談会 テーマ 「親子のイライラどうする?」

〇PTAと連携の研修会 テーマ 「ペアレントトレーニング」

○学級懇談会・なかま参観の授業での啓発

○学校だより・人権だより・学校HPで実践を発信

हिंग्या



ありがとうございました!

地区懇への参加

今間の地区側のテーマは「アナオーマネージメント」でした。学校でも持っているこの前の組み、お家の第の子育てのヒントになればということで、このテーマで行いました。

前単は、「アンガーマネージメント」について随筆に説明し、子どもと確するとも の始集的は言葉が什つしかたや、NGは音葉が什などについて「簡単していきました。特にNGな意識は、「にれ着ってしまってるわ…」というお家の方も多かったで まが(物語もそうでした…)、そのことに気づくことがまず大切です、大人自首の著え符合 意識がかが食わるだけで、子どもとの関係性も創的に変化しています。う節の数がそれな 学者でかと少くなればと思います。

後半は、グループに分かれて、「リフレーミング」という、普段短所だと思っているところを プラスの言い方に変える練習をしていきました。すると、こんな考えが出てきました。

リフレーミング〜見方を変えてみると〜「土庫小学校楽庫者バージョン」 「おせっかい」→世級対点、成前のサバル、「ロ下車」→龍の上手、横道、第6かかしい

「おせかり」ー世島対き、気が与く、酸歯見がいい、「日下手」ー環き上手、機 重、原ゆかしい 「かんこ」→最高が強い、策されない、こだわりがある 「わか事事」→自分に正・値、ぶれない 「でしゃばり」→リーダーシップがある、行動的 「しつごり」→口はり強い、領性がある

とのグループも最初はとまとっていましたが、遠中から和克あいあいとアイディアを出し合い、高ウエガッで第 そしながら 考えていきました。マイナスの意実ですで出てくられれど、プラスの言葉を言うのは整分 難しい…そんなことに関づきながら 行いました。自分を変えるのではなく、見方をおよっと見るるだけで配所も美術に変わる。自分の溶析が見方を変えれば美術になり、自分の変みになる。最後に発表しるい、終わった後は、どの方もいい、美術をされていたのがとてもうれしかったです。

アンガーマネジメントで育てたい力

- 自分の心の状態を整理する力
- 自分の欲求(誰に、何を求めているのか)を理解する力
- 場面に応じた判断をする力
- 欲求を正しく表現し、伝える力

怒りやマイナス感情をおさえつけるのが目的ではない